

今日の主なテーマ

疫学の指標（おまけ）

医学部地域医療推進学 福田 吉治
fukuday@yamaguchi-u.ac.jp

相対危険度 relative risk (RR)

曝露群の罹患率(P_1)と非曝露群の罹患率(P_0)の比

$$\text{寄与危険} = \frac{P_1}{P_0}$$

寄与危険 attributable risk (AR)

曝露群の罹患率(P_1)と非曝露群の罹患率(P_0)の差。リスク差とも呼ばれる。

$$\text{寄与危険} = P_1 - P_0$$

寄与割合 attributable risk percent (ARP)

曝露群の罹患のうち、曝露に由来する部分の発生の割合。寄与危険度パーセントとも呼ばれる。「曝露群からの発生のうち何%が曝露によるものか」を意味する。

$$\begin{aligned} \text{寄与割合} &= \frac{P_1 - P_0}{P_1} \times 100 \\ &= \frac{R - 1}{R} \times 100 \end{aligned}$$

P_1 = 曝露群罹患率、 P_0 = 非曝露群の罹患率、 R = 相対危険度

人口寄与割合

population attributable risk percent (PAR)

対象集団全体の罹患のうち、曝露に由来する部分の割合。「人口全体からの発生のうち何%が曝露によるものか」(=「曝露を取り除くことで減少しうる部分」)を意味する。

$$\begin{aligned} \text{人口寄与割合} &= \frac{(P_1 \ell_1 + P_0 \ell_0) - P_0}{P_1} \times 100 \\ &= \frac{\ell_1 (R - 1)}{1 + \ell_1 (R - 1)} \times 100 \end{aligned}$$

P_1 = 曝露群罹患率、 P_0 = 非曝露群の罹患率、 R = 相対危険度、 ℓ_1 = 曝露者の割合、 ℓ_0 = 非曝露者の割合

人口相対危険度 population relative risk (PRR)

曝露群の発生増により、対象集団全体の罹患率が何倍になったか。

$$\begin{aligned} \text{人口相対危険度} &= \frac{P_1 \ell_1 + P_0 \ell_0}{P_0 (\ell_1 + \ell_0)} \\ &= \ell_0 + \ell_1 \times R \end{aligned}$$

P_1 = 曝露群罹患率、 P_0 = 非曝露群の罹患率、 R = 相対危険度、 ℓ_1 = 曝露者の割合、 ℓ_0 = 非曝露者の割合

どちらが優先順位が高い？

	疾患Aに対する 要因a	疾患Bに対する 要因b
罹患率 人口1000対 (曝露群・非曝露群)	100・50	10・1
要因の曝露人口割合	0.2 (20%)	0.5 (50%)

相対危険度 =

寄与危険 =

寄与割合 =

人口寄与割合 =